

天に奉げる亡馬の魂 新田火まつり

幻想的な雰囲気の中、巫女と土の精たちの儀式に始まり、馬ねぶたが炎を上げて昇天。打ち上げ花火とともに、新田開拓に尽くした農耕馬の霊を慰めました。(イオンモールつがる柏)



上原げんと杯争奪のど自慢大会

向陽小学校の体育館を約2200人の聴衆が埋め尽くしました。第38代王者は松橋義直さん(青森市)。



馬市まつり馬力大会

高さ約4mの坂を人馬一体となって駆け上る。その力強さに大歓声が上がりました。(亀ヶ岡公園)



日頃の訓練の成果を発揮 消防団玉落競技大会



多くの市民が見守る中、消防車両67台が出場し、放水技術を競い合いました。(木造古田川)

区分	順位	分団	記録
50馬力以下	優勝	木造第8分団第2部(小田原)	22秒50
	2位	木造第4分団第1部(蓮川)	26秒93
	3位	木造第17分団(千代田・遠山)	41秒50
51~85馬力	優勝	木造第7分団第2部(蓮花田)	28秒88
	2位	木造第19分団第1部(越水)	53秒13
	3位	柏第8分団(小中野)	54秒73
86馬力以上	優勝	木造第5分団第2部(大畑)	17秒82
	2位	木造第15分団第1部(柴田)	30秒09
	3位	森田第4分団(床舞)	37秒29

多彩な催しで祭りを盛り上げる 市民イベント広場

市民イベント広場は、手踊りや郷土芸能発表などのさまざまな催しで盛り上がりました。



つがる市馬市まつり 2016

アライグマ被害を防ごう

アライグマ被害防止対策現地研修会が9月1日、松の館を主会場に行われ、生産者および関係者34人がアライグマの生態や被害防止方法などについて学びました。近年、アライグマは津軽地域を中心に生息域を拡大しており、つがる市では平成27年度に41件の被害が確認されています。この研修会は、その基礎知識や捕獲技術などを学んでもらおうと、市鳥獣被害防止対策協議会が主催。講師を務めた関西野生生物研究所の川道美枝子代表は「アライグマは繁殖力が強く天敵がいないので、20年で3万8千頭以上に増える。市民と行政が連携し、きっちりと粘り強く対策する必要がある」と講演しました。

その後、森田町地区と鰯ヶ沢町建石地区の被害現場を訪れ、状況を確認しながら有効な箱わなの仕掛け方などを学習しました。



講師の川道代表



特徴的なスイカの食害（左）と足あと（右）



閉校前に地域みんなで思い出づくり



ペア種目「デカパン競争」



60歳以上の部「スプーンレース」



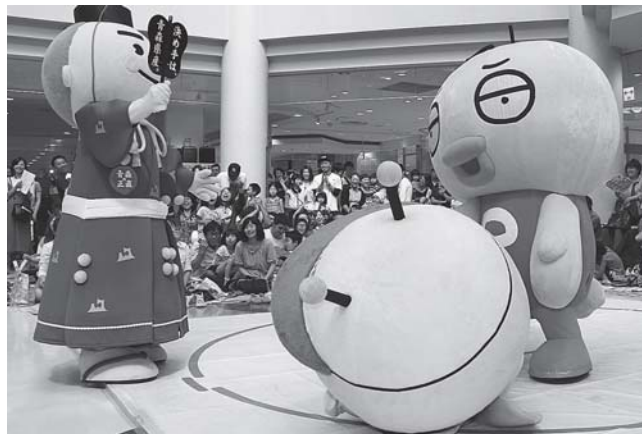
各組本気の「4組対抗リレー」



優勝は白組。みんなで大喜び

来年3月で閉校となる富范小学校（長内一校長）のグラウンドで9月4日、地域のみんなで思い出づくりをしようと「地域大運動会」が開催されました。運動会には富范小学区（豊富町、富范町）の幼児からお年寄りまで約400人が参加。赤・黄・白・青の4組に分かれ、親子ペア種目や世代ごとの種目、4組対抗綱引き・リレーなどの競技で楽しく汗を流しました。また、グラウンドいっぱいに大きな輪をつくって「車力音頭」を踊るなど、参加者全員で交流を深めていました。長内校長は「地域のみんなで楽しみたい」という思いで企画し、たくさんの方が参加してくれて本当に盛り上がった。このまま閉校式も盛大に行いたい」と話していました。

ゆるキャラで青森の魅力を発信 イオンモールで「ゆるキャラすもう大会」



大歓声に包まれた決勝戦。押し倒してピーちゃんの勝ち

9月18日、ゆるキャラで青森県の魅力を全国へPRしようと「青森県全国ゆるキャラすもう大会」がイオンモールつがる柏で開催されました。4回目の今年は県内から19体が出場。行事を務めた県産品キャラクター・決め手くんや5体の応援団、過去3回の優勝で今大会殿堂入りとなった雲丹(うんたん)(佐井村)も合わせ、総勢26体が集まりました。優勝を狙う選手たちは初戦からゆる一い名勝負を展開。詰めかけた観客から大声援が送られていました。つがるちゃんは大歓声の中健闘しましたが、惜しくも4年連続の初戦敗退。決勝では、初戦でつがるちゃんを破った**ピーちゃん**が**とよび**を押し倒して下し、見事初優勝を飾りました。